

『風は南から』

令和6年度 校長室便り
(9月2日)(第8号)



「自分の目で確かめる」ことの大切さ

皆さんは、沖高が地下ダムの上に立っていることを意識していますか？私は8月22日に下平川小学校の先生方の研修「フィールドワーク（施設巡り）」で地下ダムと大山の自衛隊基地の見学に参加しました。どちらも初めての訪問で刺激的でしたが、特に地下ダムに衝撃を受けました。建設に携わった職員の方に説明してもらい、沖高の近くにある余多「集水井（しゅうすいせい）」の中を見学させていただき、井戸に降りて実際に地下水に触れました。水温が約20℃。ダムと言われてコンクリートの塊が地下に埋められていることを勝手に想像していましたが、そうではなく、自然の地形をうまく活用した画期的なダムでした。まさに持続可能な土地活用だと思いました。建設の前後の状況を詳しく調査しても面白い探究テーマだと思いました。

8月26日「中学生体験入学」



8月26日（月）「令和6年度中学生体験入学」を実施し、46名の中学3年生が参加してくれました。開会行事では、私の挨拶の後、生徒会役員が自作の映像を使い学校紹介をし、会長の田中さんが歓迎の挨拶をしました。その後、2つの授業と部活動を体験（見学）してもらいました。短い時間ではありましたが、高校の雰囲気を楽しんでくれたようです。中学生の皆さん、ぜひ沖高で3年間学び、自分が実現したい世界観を見つけて社会に貢献できる人材へと成長してください。生徒・職員一同、4月にまた皆さんに会えるのを楽しみに待っています。

北海道大学4年生の「卒業研究」のための調査

8月18日から27日まで、前任校（鶴丸高校）の時の生徒が、卒業研究のための調査で、沖高の生徒や先生方にインタビューをしていました。彼は高校時代は野球部に所属し、2年次から活躍していました。大学は、鹿児島大学法文学部に入学しましたが、塾で講師のアルバイトをすることで教育に興味を持つようになり、大学3年次で北海道大学教育学部の編入試験に合格し、現在4年生です。既に北海道の広告代理店（コンサルタント業）への就職が決まっており、しばらく働いた後、鹿児島に帰ってきて地元で貢献したいと話していました。



今回は、「離島と都市部の進学格差」についての研で、生徒がどのように進学意識を形成し、進学選択をしていくのかについて十分な聞き取り調査ができたようです。インタビューを受けた生徒の皆さん、ご協力ありがとうございました。

1年生「鶴丸高校・北九州予備校授業（自習）体験」



7月22日（月）から24日（水）まで、1年生9名が、鶴丸高校の授業体験（2日）と北九州予備校の自習体験を行いました。船で着いた22日は、昼食を兼ねて志学館大学を訪問させていただきました（昨年度、高大連携包括協定を結んでいます）。毎年1年生の希望者に体験してもらっていますが、この事業も沖高教育振興事業から費用の補助をいただいています。参加した9名は、大きな刺激を受けて帰

ってきたようです。感想を紹介します。

（鶴丸高校）

- ・休み時間になると、次の時間の予習や生徒同士で教え合い、授業が終わるとすぐに先生に質問をしたりしていて、少しの空いている時間でも有効活用していました。クラスが勉強する雰囲気になっていて、よい環境だなと思いました。

- ・今回の体験を通して勉強に対する考え方も変わった。今までは、目先のテストなどを意識していて、勉強すること自体を楽しめていなかったように思う。だが今回の体験では、純粋に勉強することが楽しいと感じた。私は、教室全体の雰囲気が影響したのではないかと考えている。各々が真剣に授業に取り組んでいる環境が、とても心地よかった。

（北九州予備校）

- ・自分は国公立大学を目指しているため、1年生のうちから勉強する習慣をつけたいと思いました。大学に不合格になった理由を知ることができ、受験に向けて自分がどのような行動をとればよいのか分ることができました。

- ・自分の行きたい大学に行くために、まず高校1年生の今は、自己分析をしようと思います。本当に自分がやりたいことを早めに見つけて、それに向かって諦めずに頑張ろうと思います。

大学等出前授業



8月23日（金）午後より「大学等出前授業」を実施しました。今年は、鹿児島大学・琉球大学・名城大学・鹿児島国際大学・第一工科大学・鹿児島純心短期大学から11名の先生方にお越しいただき、生徒は希望で11講座に分かれて90分の授業を体験してもらいました。午前の実力考査の疲れは

見せず、みんな集中して授業に臨んでいたようです。以下は、出前授業をしていただいた講師の先生方からのメッセージです。

- ・夢を持って頑張ってください。人生の意味は、何を成し遂げたかより、何を目標として生きたかにあるのではと思います。

- ・素直で朗らかで努力していってほしいと感じました。自分の目標に向けて頑張ってください。

- ・粘り強く課題に向き合う姿がとても印象的でした。大切に伸ばしてください。

- ・目がキラキラして素直な印象を持ちました。